

## (仮称) 草津市立プール整備基本計画 (案) に関するパブリックコメントの実施結果

▼意見募集期間：

平成 30 年 10 月 1 日 (月) ～平成 30 年 10 月 31 日 (水)

▼閲覧者数：閲覧者合計 676 件

ホームページ 648 件、閲覧場所 (プール整備事業推進室 6 件、情報公開室 4 件、図書館 (本館) 11 件、南草津図書館 7 件)  
(参考) フェイスブックリーチ数 1,021 件 (ページのコンテンツを見たユーザー数)

▼意見提出者数：

9 人 (うち直接提出 1 人、郵送 0 人、ファクス 1 人、Eメール 7 人)

▼提出された意見の件数：

32 件

問合せ先
〒525-8588 草津市草津三丁目 13 番 30 号 草津市建設部 プール整備事業推進室 (市役所 7 階) TEL : (077)561-6807 Fax : (077)561-2489 E-mail : pool@city.kusatsu.lg.jp

▼提出された意見と回答

№	意見（要旨）	回答
1	<p>[全体について]</p> <p>2019年から2021年まで、我が国では大規模な国際的スポーツイベントが3年間続きます。人々のスポーツへの関心や活動が高まる中、2024年に滋賀県で開催する第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会にむけて、（仮称）草津市立プールが整備されることは、非常に注目される計画になると思います。</p> <p>特に、（仮称）草津市立プールは、高性能かつ多機能な施設であるとともに、アクセスも良く、草津市は近隣を含め、豊富な観光資源を備えていることから、市外はもとより、県外、国外の方々が利用しやすい環境下にあります。</p> <p>そのため、スポーツ大会の開催のみならず、国内外のアマチュアからトップレベルの選手たちを受け入れる「スポーツキャンプ」の誘致の積極的な推進もご検討いただければと思います。スポーツキャンプの誘致は、大会の開催とは異なり、季節を問わず選手やチームが長期的な滞在をするため、地域の既存の環境や施設を活かした持続的な地域振興に寄与できる可能性があります。</p> <p>また、水泳競技は、マスターズ大会も非常に盛んですので、（仮称）草津市プールが様々な国、年代、競技レベルの人たちに求められ、それが地域の方々に還元されるような仕組みづくりによって、スポーツ庁が推進する「スポーツによる持続的なまちづくり」の一つのモデルになることを期待します。</p> <p>滋賀県は、もともと美しい水を守り、水と共存するイメージを持つ県です。豊かで美しい水のイメージを活用して、（仮称）草津市</p>	<p>本施設の交通利便性の高さや中心市街地エリアに立地する強みを生かし、観光・宿泊施設とも連携を図りながら、本市の魅力を発信することや、広域からの様々な年齢層の集客を見込んだ大規模なスポーツ大会やスポーツキャンプの誘致なども含めて、新たなにぎわいの創出や地域の活性化に寄与し、草津市民の誇りとなるような施設になるよう、効果的な運営方法を検討してまいります。</p>

	<p>プールが、草津市のまちづくりとして、市民の方々にとっての心身の健康を促進するとともに、市の新たなブランディングのきっかけになることも期待します。（仮称）草津市プールが水泳の競技者たちにとっては憧れであり、草津市民の方々にとっては身近でありながら誇りとなる存在として活用されることを願います。</p>	
2	<p>〔全体について〕          大学体育会水泳部としての利用として以下の項目が挙げられた。</p> <p>競泳部門</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週末に長水路を用いて本番のレースを想定した練習</li> <li>・年2回行っている合宿を草津市立プールでの実施</li> <li>・大学、滋賀県水泳連盟合同主催の大会の開催</li> </ul> <p>水球部門</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大会時の利用</li> <li>・冬季シーズンの利用</li> </ul> <p>飛び込み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学内チームの練習場所としての利用</li> </ul> <p>また、その他の意見として、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生選手権水泳競技大会の実施</li> <li>・控え場所の十分なスペースの確保について</li> <li>・放送施設の充実度</li> </ul>	<p>大会の開催や合宿等の利用など水泳競技の拠点として活用されるよう、関係団体等と協議を行いながら、運営方法や施設整備について検討してまいります。具体的な内容については、今後、本事業の整備、運営をPFI方式で進めていくなかで、今回いただいた意見も踏まえながら、市として要求水準書等への反映を検討し、民間事業者に提案を求めてまいります。</p>

3	<p>〔P.2 上位計画・関連計画との整合について〕</p> <p>上位計画・関連計画の中に、「草津市地球温暖化対策実行計画」を加えてはどうだろうか。本基本計画には環境面に関する記載があまり見受けられない。大規模官庁施設として、環境問題対策や省エネに関する取組みは必要不可欠と考える。「草津市地球温暖化対策実行計画」には環境問題・省エネへの記載が十分に包括できており、本基本計画策定に組み込んでいただきたい。</p>	<p>本計画の上位計画・関連計画については、基本方針である「スポーツ環境の充実」「新たなにぎわいの創出」「スポーツ健康づくりの推進」を軸として、関連する計画を体系化してお示ししております。</p> <p>ただし、本施設における環境問題対策や省エネに関する取組については、御意見のとおり今回の施設整備における重要な視点であると考えており、また、環境に限らず様々な視点・分野における市の条例等や各種計画を踏まえながら、今後、本事業の整備、運営をPFI方式で進めていくなかで、市として要求水準書等への反映を検討し、民間事業者からの提案を求めてまいります。</p>
4	<p>〔P.6 基本方針について〕</p> <p>基本方針①～③の実現に向けて、草津市として指定管理者の運営に関与（指導）する体制をつくり、特に、誰もが手軽に利用しやすい施設にする。</p>	<p>施設の整備・運営については、PFI方式の採用による民間事業者への一括発注を想定しており、民間のノウハウを活用しながら誰もが利用しやすい施設として効率的な運営ができるよう進めてまいります。</p> <p>その中で、市として、民間事業者との対話等のもとより、事業の実施状況を確認する体制を構築し、基本方針の実現に向けて取り組んでまいります。</p>
5	<p>〔P.6 基本方針について〕</p> <p>市内のプールとも連携して、草津市で、水泳がシンボルスポーツにまで普及するよう企画する。</p>	<p>国民スポーツ大会および全国障害者スポーツ大会後も大規模大会をはじめとする水泳競技の拠点としての利活用や市民、県民のスポーツ振興ならびに健康づくりに資する施設となるよう、関係団体等にも協力を求めながら、市内における水泳の盛り上がりにつながるよう努めてまいります。</p>

6	<p>[P.6 基本方針について]</p> <p>トップアスリートの競技等の観戦を通じて、子どもたちのスポーツ能力の向上及び人格形成に好影響を与えることを期待しています。</p>	<p>市として、本施設が整備されることで、子どもたちを含めた市民、県民のスポーツ振興につながるよう努めてまいります。</p>
7	<p>[P.6 基本方針について]</p> <p>地元学校やこれからの人材育成促進などへの使用方法の検討</p>	<p>誰もが水泳などに親しむことができ、様々な用途での利活用が図られる施設となるよう検討してまいります。</p>
8	<p>[P.6 基本方針について]</p> <p>「ビギナーからアスリートまで誰もが利用しやすい」大型プール施設が近隣にできることは、体育会水泳部（競泳・水球）・トライアスロン部の練習環境の幅が広がり、トップアスリートの輩出の一助となることが見込まれる。また個人として（クラブチーム等へ所属しながら）、飛込みやアーティスティックスイミングといった競技に取り組む学生アスリートにとって、同様の効果が見込まれる。学生アスリートの利便性の観点から、学生割引や学生団体割引、クラブチームの練習拠点誘致など検討して頂きたい。</p>	<p>今後、本事業の整備、運営をP F I方式で進めていくなかで、当施設が、クラブチームを含めた競技者の練習拠点や合宿地として利用していただくために必要となる機能や設備等について、また、利用料金につきましても他施設の料金の設定状況を踏まえ、市としての考え方を示しながら、民間事業者に提案を求めてまいります。</p>
9	<p>[P.6 基本方針について]</p> <p>中高や大学へ通学しながら、当施設を有効に活用することにより、滋賀県が水泳競技において、将来のオリンピック選手等をより円滑に育てていける環境となることを期待する。</p>	<p>幅広い年齢層の水泳人口の増加や競技者の裾野を広げ、スポーツ振興や健康づくりに本施設が活用されるよう、環境整備を検討してまいります。</p>
10	<p>[P.7 導入機能について]</p> <p>カフェ、軽食が提供できる施設をつくり、利用者増と交流機能が充実するよう提案する。</p>	<p>交流・コミュニティ機能が効果的に発揮されるよう整備を検討してまいります。具体的な内容については、今後、本事業の整備、運営をP F I方式で進めていくなかで、今回いただいた意見も踏まえながら、民間事業者に提案を求めてまいります。</p>

11	<p>[P.7 導入機能について]</p> <p>私は、学生時代に水泳をしていた経験があります。今回草津市に国体用に屋内温水プールができると聞き、とてもうれしいことだと喜んでおります。</p> <p>そこで、作られるにあたっての要望としては、国体後に親と幼児と一緒に楽しめるように「幼児用プール」があればいいと思います。また民間のジムにはない、ジャグジー設備や充実したジム設備があれば、一般市民も楽しめると思います。</p> <p>そして、大きな大会（近畿大会や全国大会等）を誘致していけば、たくさんのお客さんが入り地域の活性化や収益の向上につながると思います。これからもいい設備ができるように頑張ってください。</p>	<p>当施設は可動床を導入することにより、柔軟に水深を設定することで、幼児用プールとしても親子と一緒に楽しむことが可能となるよう、整備を予定しております。</p> <p>今回いただいた意見も踏まえながら、様々な方に利用いただけるような運営の面につきましても、今後、本事業の整備、運営をPFI方式で進めていくなかで、市として要求水準書等への反映を検討し、民間事業者の提案を求めてまいります。</p>
12	<p>[P.7 導入機能について]</p> <p>国内トップクラスの（1）競技大会開催機能と（2）競技力向上機能を持つ施設であること、またその機能の維持管理・運営がしやすい施設であることが望ましいと考えます。</p>	<p>国民スポーツ大会や全国障害者スポーツ大会、その後における大規模大会についても開催可能な施設として、また、競技力向上のための機能を備えた施設として整備を行います。</p> <p>具体的な内容については、今後、本事業の整備、運営をPFI方式で進めていくなかで、市として要求水準書等への反映を検討し、民間事業者に提案を求めてまいります。</p>
13	<p>[P.7 導入機能について]</p> <p>（3）健康拠点機能、（5）交流・コミュニティ機能については、草津市全体としてロクハ公園や矢橋帰帆島公園のプールと連携して機能を発揮する可能性を感じます。</p>	<p>市内の他施設との連携により、相乗効果が発揮できる方策について検討してまいります。</p>
14	<p>[P.7 導入機能について]</p> <p>国体後の運営方法を考案してみてもと思います。</p> <p>京都のアクアリーナはマスターズ大会や、西京極運動公園内にあ</p>	<p>広く市民、県民が利用できる水泳競技の拠点として、関係団体等と協議を行いながら、国民スポーツ大会および全国障害者スポーツ大会後もマスターズ等の大規模大会の誘致等によ</p>

	<p>るので使用率は高いですが滋賀（京滋）でのマスターズ大会での使用が可能なのか・・・（滋賀・マスターズ開催場所が能登川など遠いので）</p> <p>または、隣接している運動公園との関係性も大切だと思います。</p>	<p>り、新たなにぎわいの創出、スポーツを通じた健康づくりの推進が図られるよう検討してまいります。</p> <p>また、必要に応じて隣接する野村運動公園等との連携についても検討してまいります。</p>
15	<p>〔P.7 導入機能について〕</p> <p>競泳プールも水深 3.0m と深くって頂くことにより、競泳での飛び込み時や水球・アーティスティックスイミングなどでのケガ防止にもつながり、また競泳においては好記録への貢献が期待される。提案通りの水深 3.0m での計画遂行を期待している。</p>	<p>競泳用 50m プールの水深については、可動床により 0～3m となるよう整備する計画としており、競技力の向上や選手の育成・強化が行える施設となるよう検討してまいります。</p>
16	<p>〔P.7 導入機能について〕</p> <p>現在、可動床を採用している多くの 50m プールは 4 床からなり、両サイドの最大水深は 2m、真ん中 2 床の最大水深は 3m となっている。今後 50m プールは水深 3m フラットが基準になることが予想されるため、本プールについても水深は 3m フラットにした方が良いと考える。</p>	<p>施設整備の具体的な内容については、今後、本事業の整備、運営を P F I 方式で進めていくなかで、今回いただいた意見も踏まえながら、市として要求水準書等への反映を検討し、民間事業者へ提案を求めてまいります。</p>
17	<p>〔P.7 導入機能について〕</p> <p>水泳競技大会開催時、朝一番に多くの参加者が一斉にウォーミングアップを行うため、プール水が一気に受水槽に流れ、容量オーバーとなったプール水は排水されるケースがあるため、受水槽の容量を大きくするか、受水槽からオーバーしたプール水はトイレ等の水に再利用できるようなシステムにした方が良いと考える。</p>	<p>施設整備の具体的な内容については、今後、本事業の整備、運営を P F I 方式で進めていくなかで、今回いただいた意見も踏まえながら、市として要求水準書等への反映を検討し、民間事業者へ提案を求めてまいります。</p>

18	<p>[P.7 導入機能について]</p> <p>観客席の最前列は転落防止の観点から柵と座席の間に手摺り等を設置する他、柵と座席の間のスペースを幅広く取ることにより人の行き来もスムーズに行えると考ええる。</p>	<p>施設整備の具体的な内容については、今後、本事業の整備、運営をPFI方式で進めていくなかで、今回いただいた意見も踏まえながら、市として要求水準書等への反映を検討し、民間事業者へ提案を求めてまいります。</p>
19	<p>[P.7 導入機能について]</p> <p>飲食店を導入してはどうだろうか。本施設は様々な世代の方々が多数利用されると予想できる。喫茶スペースなどを設けることでプール利用者や、隣接施設である野村総合運動公園利用者の憩いの場として重宝されると考える。さらに、移動式かまどや、移動式コンロを導入しておくことで、有事の際、本施設への避難者や広域避難所に指定されている、隣接施設野村総合運動公園への避難者などに対して炊き出しを行うことができるのではないだろうか。以上のように飲食店の導入は平時・有事ともに有用な施設になると考えられる。</p>	<p>本施設の導入機能として、交流・コミュニティ機能、防災機能の整備を計画しておりますが、具体的な内容については、今後、本事業の整備、運営をPFI方式で進めていくなかで、今回いただいた意見も踏まえながら、市として要求水準書等への反映を検討し、民間事業者へ提案を求めてまいります。</p>
20	<p>[P.7 導入機能について]</p> <p>障がい者用更衣室は男性更衣室・女性更衣室の中には設置せず、共有スペース（パブリックスペース）から入退室できるようにすることが必要と考える。理由としては、男性更衣室・女性更衣室を通らずに障がい者用更衣室に入室でき、更衣の後、男性更衣室、女性更衣室を通過することなくプールに移動できるようにすることで、介助者が異性であっても対応が可能となる。その他、障がい者用更衣室内には、トイレ・シャワーを設置する他、更衣をスムーズにするためのベッドの設置が必要と考える。障がい者用更衣室を使用される方は更衣に長い時間を要すると考えられる。1ヶ所のみでなく複数の障がい者用更衣室を設置することが望ましい。また、入退場</p>	<p>障害のある方もない方も、可能な限り誰もが利用しやすい施設として整備してまいりたいと考えており、具体的な内容については、今後、本事業の整備、運営をPFI方式で進めていくなかで、今回いただいた意見も踏まえながら、市として要求水準書等への反映を検討し、民間事業者へ提案を求めてまいります。</p>

	口には外からでも利用していることが分かるランプ等の設置が必要だと考える。	
21	<p>[P.7 導入機能について]</p> <p>売り上げ確保のため、自主事業でスイミングスクールを実施してはどうだろうか。その場合スイミングスクール専用の更衣室及び体操場を設置した方が良いと考える。</p>	自主事業やその具体的な内容については、今後、本事業の整備、運営をPFI方式で進めていくなかで、今回いただいた意見も踏まえながら、民間事業者に提案を求めてまいります。
22	<p>[P.7 導入機能について]</p> <p>滋賀県県民生活部エネルギー政策課作成の「しがエネルギービジョン」にも記載がある、分散型電源「天然ガスコージェネレーションシステム」を導入するべきではないか。施設の中で発電し、同時に発生する熱をプール水の加温などに利用し、平常時のエネルギーコストの削減及び省エネルギーを実現するとともに、停電時における熱と電気の確保のための有効な手段になると考えられる。さらに、平常時も稼働する設備であるため、ライフサイクルコストが低くなる。ガス供給においては、近傍に存在している強靱性が高い中圧ガス導管の活用をすべきと考える。東日本大震災時において、中圧ガスを使用する天然ガスコージェネレーションが稼働し続け、BCP対策としての有効性が確認されている。以上のことから、非常時の機能を確保するなど、市民の生命と安心を守るため天然ガスコージェネレーションの導入検討を推進する旨を記載すべきであると考える。</p>	本施設におけるエネルギーをはじめ施設整備の具体的な内容については、今後、本事業の整備、運営をPFI方式で進めていくなかで、今回いただいた意見も踏まえながら、市として要求水準書等への反映を検討し、民間事業者に提案を求めてまいります。
23	<p>[P.7 導入機能について]</p> <p>プール水ろ過設備を導入し、災害時における避難者への生活用水の確保が可能であると考え。災害発生時、避難施設において水源</p>	本施設の水について、災害時において具体的にどのように活用するかについては、今後、本事業の整備、運営をPFI方式で進めていくなかで、今回いただいた意見も踏まえながら、

	<p>確保は非常に重要である。本施設は貯水設備能力を十分に有していると考えられ、これをろ過し、飲料水・生活用水などに有効活用すべきと考える。</p>	<p>市として要求水準書等への反映を検討し、民間事業者に提案を求めてまいります。</p>
24	<p>〔P.7 導入機能について〕</p> <p>井水活用設備の導入を検討してはどうか。平常時にもプール水の上下水削減など、省エネにも貢献出来るのではないか。</p>	<p>現時点で、井水活用は想定しておりませんが、施設整備の内容については、今回いただいた意見も踏まえながら、民間事業者に提案を求めてまいります。</p>
25	<p>〔P.9 施設整備計画について〕</p> <p>プールの天井はあまり高くない方が、室温維持の光熱費の削減になるかと。熱風（温度調整）が出る場所などが選手や観覧席等にかからないか。</p>	<p>天井は、飛込プールに必要な高さを確保したうえで、コンパクトな施設配置と機能性・利便性を両立した施設として整備を検討してまいります。</p>
26	<p>〔P.10 土地利用・配置計画について〕</p> <p>大江霊仙寺線からのアクセスを主とするがあるが、次の点を希望する。</p> <p>(1)草津川跡地公園5からの道路の拡幅</p> <p>(2)案内板の充実（わかりやすさ、枚数）</p> <p>なお、現在の草津川跡地公園5の案内板と同じようでは不十分</p>	<p>草津川跡地公園（区間5）からの道路の拡幅につきましては、草津川跡地利用基本構想ならびに草津川跡地利用基本計画に基づき、整備を進めてまいります。</p> <p>また、案内サインを設置するなど、適切な交通アクセスについても検討してまいります。</p>
27	<p>〔P.10 駐車場台数等の設定について〕</p> <p>滋賀県民は最寄り駅が遠い・バス利用の意識が低い（車文化）ので、駐車場の広さが重要。</p>	<p>駐車場は、大規模大会の開催等を想定し、200台程度の駐車台数を計画していますが、本施設の計画地は最寄り鉄道駅のJR草津駅から半径約600メートルと近接しているため、基本的には公共交通機関の利用を促してまいります。</p>

28	<p>[P.11 平面・ゾーニング計画について]</p> <p>50mプールの空間と別空間に、飛び込みプールと別のアッププールが必要と思います。</p> <p>国体等の大規模な大会を行う際に、アッププール（ウォーミングアップ、クールダウンを行うプール）が、飛び込みプールと兼用なのは、大会運営上問題があると考えます。</p> <p>具体的には、大会時の選手の動線の混乱や、隣で「バシャバシャ」泳ぐことによる、スタート合図の際の支障や、選手の待機場所をどこに確保するのか？等の問題があります。</p> <p>飛び込みプールの空間と 50m プールの空間を壁で仕切るのも考えられますが、デメリットとして、観客席の数が確保できなくなるデメリットが発生します。</p> <p>よって、一つの例として、東京辰巳国際水泳場のように、観客席の下にアッププールを作る等はいかがでしょうか？ 多くの大会では、選手の待機場所はこのアッププールの周りに確保しています。この構造が、選手側からも、非常に使い勝手がいいようです。</p> <p>また、25mのアッププールは、大会を行っていないときは、高齢者用の健康増進プールとしてや、自主事業のスイミング教室等で使用でき、公共側が負担する運営費を削減する効果も発揮します。逆に、この機能のプールが無いと運営側は採算がなかなかとりにくく、入札参加の足かせになると思います。</p> <p>このような、プールの建設提案は、可能でしょうか？</p>	<p>平面・ゾーニング計画については、コンパクトな施設配置と機能性、利便性を両立しながら、大規模大会の開催や合宿利用、また一般の方にも利用していただけるよう、基本計画案では 50mプールおよび 25m飛込兼用プールを検討しており、このスペックで国民スポーツ大会や全国障害者スポーツ大会を実施することについて、日本水泳連盟から確認を得ております。</p> <p>今後、本事業の整備、運営をPFI方式で進めていくなかで、市として要求水準書等をお示ししたうえで、民間事業者に提案を求めています。</p>
----	---	--

29	<p>[P.13 周辺施設との連携について]</p> <p>広域避難所として指定されている野村運動公園および支援物資輸送拠点となる現在整備中の（仮称）くさつシティアリーナ、さらに草津警察署の4施設を連携させることで、災害時における、避難者の「暮らしと保安」の充実を図り、強靱な防災エリアの構築が可能ではないか。全国的にもまれな立地条件であり、実現すれば防災エリアのモデルケースとして草津市として大きく対外的にPRできるのではないだろうか。</p>	<p>今回いただいた意見を踏まえながら、防災機能が発揮できるよう周辺施設と連携を図ってまいります。</p>
30	<p>[P.15 収入の算定について]</p> <p>市民への1回利用の使用可能（500円など）</p>	<p>利用料金については、今後、本事業の整備、運営をPFI方式で進めていくなかで、他施設の料金の設定状況、民間事業者の意見等も踏まえて適切な金額を検討してまいります。</p>
31	<p>[P.24 事業手法について]</p> <p>スポーツ施設のマネジメントに関しては、全国各地で試行錯誤されています。特に難しいと考えられる施設の維持管理・運営の部分において、PFI方式のメリットが発揮されることを期待しています。</p>	<p>財政負担の平準化や民間の技術、創意工夫、経営ノウハウ等を活用し、効率的な施設マネジメントが実現できるよう、事業を進めてまいります。</p>
32	<p>[その他]</p> <p>新聞等で、滋賀県からの補助を受けて整備するということで聞き及んでいます。基本計画案を拝見するなかで、市民としては、市立プールとしての整備に反対ではないものの、本来、県が県立プールとして整備（彦根市の県立プールの更新）するべき施設を、市の負担を伴って整備するものと認識しておりますので、滋賀県から市への補助がしっかりと行われるよう願います。</p>	<p>本施設の整備や運営を進めるにあたり、それらにかかる経費について滋賀県から財政支援を受けるということを基本としておりますことから、今後、着実に県からの補助を受けながら事業を進めてまいります。</p>

※意見において具体的な団体名等が明記されている箇所については、意見の主旨に反しない範囲で修正を加えています。

また、誤字であることが明らかな箇所についても訂正を加えています。